

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

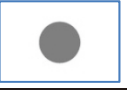





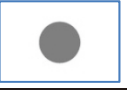




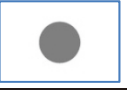





### 【実践者】

授業者氏名	吉田 潔	学校名	札幌市ひばりが丘小学校
教科（科目）・領域	外国語活動・外国語科	対象学年（人数）	5年 1組（25名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年4月（2時間）		

### 【実施概要】

1. 単元名(活動名) : We Can1 Unit1 Hello, everyone.					
2. 実施する教科・領域 : ・第5学年外国語活動(外国語科) WeCan1 Unit1「Hello, everyone.」	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定） : ・挨拶パズルやアルファベットカルタ、自己紹介VTR視聴を通して、外国語やスリランカの文化に興味をもち、進んで活動に取り組んだり、自己紹介を聞き取ったりしようとする。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	挨拶と言語、国のつながりが分かる。また、スリランカの動物などを知り、アルファベットの大文字を読むことができる。			
	②思考力、判断力、表現力等	慣れ親しんできた英語表現に着目しながら、自己紹介を聞き取ることができる。			
	③学びに向かう力、人間性等	進んでカルタに取り組んだり、自己紹介を聞き取ろうとしたりしている。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p><b>【単元設定の理由】</b> 教科として初めて英語を学ぶ本単元では、児童は、まず世界で活躍している日本人を知り、自分たちの未来は世界に向かって開かれていることを実感する。さらに、国内においても様々な場面で外国語(英語)が使われていることに気付くであろう。本単元では、スリランカで撮影した児童・生徒の自己紹介を視聴させることにより、国際言語としての英語の存在に気付かせたいと考え、本単元を設定した。</p> <p><b>【単元の意義】</b> 本単元では、中学年で慣れ親しんだ語彙や表現を使って自己紹介をすることを目標としている。スリランカで撮影した映像資料を視聴する中で、これまでに慣れ親しんだ語彙や表現があることに気付き、自己紹介への意欲を高めることを期待している。</p> <p><b>【児童/生徒観】</b> 前年度は、中学年外国語活動初年度であり、年間20時間しか活動を行っていない。ALTの英語を聞く機会も3単位時間しかなかったため、英語を聞いたり話したりすることに十分に慣れ親しんでいるとは言えない。</p> <p><b>【指導観】</b> 世界には、英語を母国語としない国がたくさんあり、日本やスリランカもその一つである。我々日本人の中には、英語を話すことへ抵抗感があったり、分からないと信じ込んでいたりする人も少なくない。 前年度から外国語活動を行っている本児童には、日本と同じように外国語として英語を学習しているスリランカの児童・生徒が上手に英語を使って自己紹介している様子から、「自分たちにもできるかもしれない。英語で自己紹介したい。」という学習意欲を喚起、向上させるきっかけになったら幸いである。</p>				

7. 単元計画 (全 2 時間)			
※全体の総時間数は適宜変更してください。			
時	ねらい	学習活動	資料など ※: JICA リソース活用はここに記載
1	いくつかの言語 (アジア) での挨拶とジェスチャーを知り、「手を合わせる」ことが日本の文化にもあることと比べながら、異文化への興味関心をもたせる。	<p>英語で新しい友達と挨拶しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな言語の挨拶とジェスチャーを知る</li> <li>・デジタル教材やスリランカの子どもの VTR を視聴する。</li> </ul> <p>英語の自己紹介が聞き取れたよ。自分も英語で自己紹介してみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語、フランス語、中国語、ポルトガル語、シンハラ語の挨拶とジェスチャー</li> <li>・スリランカで取材した児童・生徒の自己紹介 VTR</li> </ul>
2	スリランカカルタを通して、アルファベットの大きな文字に慣れ親しみながら、スリランカの文化や物に触れ、異文化への関心を深める。	<p>スリランカの文化や物を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットカルタでスリランカに出会う。</li> </ul> <p>アルファベットの大きな文字が読めたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットカルタ (スリランカ編)</li> </ul>

8. 本時の展開 (1 時間目)																										
本時のねらい: いくつかの言語 (アジア) での挨拶とジェスチャーを知り、「手を合わせる」ことが日本の文化にもあることと比べながら、異文化への興味関心をもたせる。																										
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)																							
導入 (15分)	<p>○スリランカのスライドを見て、基本的なことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スリランカってこんな国!</li> <li>・スリランカに行ってみた!</li> <li>・スリランカ「もの・ばしょ・ひと」</li> </ul>	④⑤は、シンハラ語とタミル語でカードが5つで国が4つから疑問をもたせる。	スライド																							
展開 (10分)	<p>英語で新しい友達と挨拶しよう</p> <p>○いろいろな言語の挨拶とジェスチャーを知る。</p> <p>国旗、国名、挨拶 (外国語・カタカナ)、ジェスチャーの6つのカードを組み合わせるパズルをする。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①日本</td> <td>こんにちは 「ていねいに」</td> <td>おじぎ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②アメリカ</td> <td>Hello.</td> <td>手をふる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③インド</td> <td>नमस्ते (ナマステ)</td> <td>手を合わせる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④スリランカ</td> <td>ආයුබෝවන් (アユボワン)</td> <td>手を合わせる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤スリランカ</td> <td>வணக்கம்! (ワナカン)</td> <td>手を合わせる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ブラジル</td> <td>Boa tarde (ボア タルヂ)</td> <td>手をふる</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			①日本	こんにちは 「ていねいに」	おじぎ		②アメリカ	Hello.	手をふる		③インド	नमस्ते (ナマステ)	手を合わせる		④スリランカ	ආයුබෝවන් (アユボワン)	手を合わせる		⑤スリランカ	வணக்கம்! (ワナカン)	手を合わせる		⑥ブラジル	Boa tarde (ボア タルヂ)	手をふる
①日本	こんにちは 「ていねいに」	おじぎ																								
②アメリカ	Hello.	手をふる																								
③インド	नमस्ते (ナマステ)	手を合わせる																								
④スリランカ	ආයුබෝවන් (アユボワン)	手を合わせる																								
⑤スリランカ	வணக்கம்! (ワナカン)	手を合わせる																								
⑥ブラジル	Boa tarde (ボア タルヂ)	手をふる																								

<p>(15分)</p>	<p>○スリランカの子どもの自己紹介 VTR を視聴し、自分のことと比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 才の男の子</li> <li>・ インドの男の子</li> <li>・ 教員を目指す女学生</li> <li>・ 11 才の女の子</li> <li>・ 日本語を学んでいる 18 才の女生徒①</li> <li>・ 日本語を学んでいる 18 歳の女生徒②</li> </ul> <p>○友達に英語で挨拶しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hello. My name is ~.</li> <li>・ I like ~. Nice to meet you.</li> </ul>	<p>聞き取りにくいものもあるので、2~3 回ずつ視聴させ、少しずつ聞き取れるようにする。</p> <p>日本語を学んでいる学生は、日本語の自己紹介も見せ、外国語への学習意欲向上を促す。</p> <p>時間に合わせて挨拶する人数を調整する。</p>	<p>現地で撮影した VTR を用意</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○次時への期待を高める。</p> <p>「手を合わせる」ことって外国でも使われているんだね。 自分の国の言葉じゃなくても上手に自己紹介しているよ。自分も英語でもっと上手に自己紹介できるようになりたいな。</p>	<p>冒頭のあいさつジェスチャーを想起させ、日本人と同じように英語を外国語として学習している国もたくさんあることを伝え、英語が国際社会で必要であることを伝え、学習意欲を喚起させる。</p>	<p>ふり返しカード</p>

<p>8. 本時の展開 (2時間目)</p> <p>本時のねらい：スリランカカルタを通して、アルファベットの大文字に慣れ親しみながら、スリランカの文化や物に触れ、異文化への関心を深める。</p>			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
<p>導入 (5分)</p> <p>展開 (25分)</p>	<p><b>アルファベットに慣れ親しみ、自己紹介に挑戦しよう</b></p> <p>○アルファベットカルタ (スリランカ編) をする。</p> <p>裏面には、写真や絵の解説が書かれているので、カードを取った子は、みんなに読んで聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央にアルファベットカードを重ねて置き、順番にめくる。カルタはその回りに広げる。</li> <li>・ めくったカードのアルファベットを読み上げ、ほかの人がカルタを取る。</li> <li>・ カルタを取った人は、裏面の説明を読み上げる。</li> <li>・ 集めたカードの中から自由に選び、I like. I don't like. で表現する。</li> </ul>	<p>一通り終わった後に、エピソードを話し、興味を喚起する。</p>	<p>スリランカの動植物や観光名所、食べ物などの書かれたカード(頭文字のアルファベット大文字付き)をグループ分用意</p>
<p>(10分)</p> <p>まとめ (5分)</p>	<p>○前時の VTR を想起し、自己紹介の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ My name is ~. I like ~. Nice to meet you.</li> </ul> <p>○グループの友達と自己紹介をし合う。</p> <p>○次時への期待を高める。</p> <p>次はもっと自信をもって、たくさんの友達に自己紹介したいな。</p>	<p>教師が見本を見せ、見通しをもたせ、「これならできそう。」という意欲を喚起する。</p> <p>相手を見て話すように指示する。</p>	<p>自己紹介カード(話す内容メモ)を持たせてもよい。</p> <p>ふり返しカード</p>

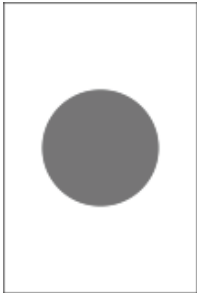




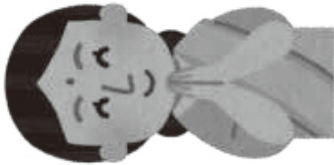

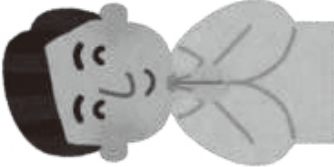
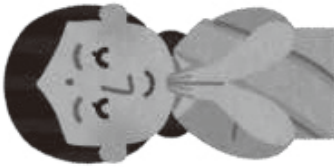


<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>○知っていることや日常の動作を基にしなが、挨拶パズルに進んで取り組んでいる。（行動観察）</p> <p>○知っている言葉に気を付けながら、VTRの自己紹介の英語を聞き取っている。（行動観察）</p> <p>○気に入ったことや興味を引かれたことを入れながら、スリランカの物や動物、自然について自分なりの感想を持っている。（ふり返りカード）</p>
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>○外国語活動として行うに当たり、外国語に触れる機会を多く設けること、また、優しい表現を大切に、事前に撮影したVTRでは、予めインタビュー内容を英語でメモし、対象者に目を通してもらってから撮影した。</p> <p>○スリランカカルタでは、対象について受動的に説明を受けるだけでは印象に残らないため、カルタ取りを取り入れることで主体的に対象に関わり、自ら説明を読み上げることで印象に残るように工夫した。</p>
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>○他学年の外国語活動でもスリランカに触れる場面を取り入れたり、校内にスリランカコーナーを設置し、自由に学ぶ環境を作ったりした。</p>

【自己評価】

12. 苦勞した点	<p>○挨拶とジェスチャーでは、必ずしもその動作をすることは限らないため、選択を迷う場面があった。</p> <p>○スリランカカルタを作成するに当たり、当てはまる事物を探すことに苦勞した。</p>
13. 改善点	<p>○VTRの撮影状況がよくないものがあるため、内容が聞き取りにくいものがあるため、ノイズキャンセリングなど音声クリアにできる技術があるとより学習効果があるのではないか。</p> <p>○カルタ遊びは、アルファベットを読む活動はあるが、音声による活動が少ないので、アルファベットを言う場面やゲームを追加できるとよいのではないか。</p>
14. 成果が出た点	<p>○VTRは、母国語ではなく第二言語として英語を話す子たちの様子が見られ、子どもたち自身との共通点があることで、興味関心を高めることができた。</p> <p>○日本語を学んでいる学生のスピーチを聞いて、日本に興味をもっていることへの喜びを感じ、スリランカの人への親近感が湧き、外国への興味関心が高まった。</p> <p>○スリランカカルタを通してスリランカを身近に感じ、自分たちの身の回りの事象と比べながら外国について学ぶことができた。</p>
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	<p>【授業後の感想より】</p> <p>○人間のこんなに近くに動物がたくさんいてすごいなと思った。</p> <p>○日本ではお願いするときや神様に祈るとき、「いただきます。ごちそうさま。」のときに手を合わせるけど、挨拶をするときに手を合わせるなんて何かおもしろいなって思った。</p> <p>○スリランカの方は、英語も上手だけど、日本語もすごく上手ですごいなって思った。</p>

<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>○たくさん伝えたいことがある中から、「外国語活動」として扱うことができる内容に限りがあるため、授業案作りに非常に苦慮した。</p> <p>○英語を母国語としている人が英語を話すことができるのは当たり前。子どもたちにとって外国人が英語を話すことができることは当たり前のように感じているが、第二言語として英語を話すことができる子どもたちが世界にはたくさんいること、「自分たちも負けてはいられない」という気持ちをもたせることができなければいいなと感じる。</p> <p>○子どもたちにとって身近な人（教師や家族、友人など）が外国文化に触れ、伝えてくれることで外国への関心をもち、そこから外国語生活や諸問題、日本との違いなどについて主体的に関わろうとする関心意欲を喚起することができたならば幸いである。</p>
-----------------------	--

参考資料：

<p>こんにちは</p>		 <p>おじぎをする</p>
<p>Hello.</p>		 <p>手をふる</p>
<p><b>namasaste</b> ナマステ</p>		 <p>手を合わせる</p>
<p>ආඥාචාරිණි アーユボーワン</p>		 <p>手を合わせる</p>
<p>வணக்கம் ワナツカン</p>	<p>× インフォメーションギヤ ップとして印刷しない</p>	 <p>手を合わせる</p>
<p>Boa tarde ボアタルジ</p>		 <p>手をふる</p>

# あいさつ と ジェスチャー

下の国の言語では、どんなあいさつで、どんなジェスチャーをするのか考えよう。

Japan 日本	U. S. A. アメリカ	India インド	Sri Lanka スリランカ	Brazil ブラジル
国旗	国旗	国旗	国旗	国旗
言葉	言葉	言葉	言葉	言葉
ジェスチャー	ジェスチャー	ジェスチャー	ジェスチャー	ジェスチャー

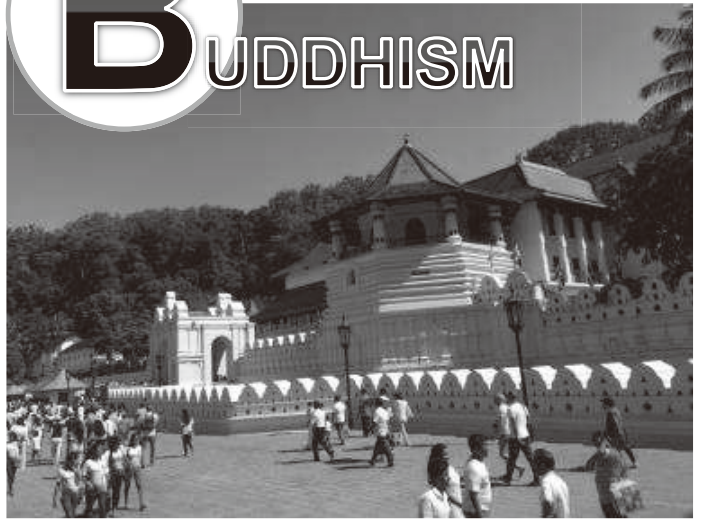
※ここで紹介するジェスチャーは一例です。あなたはどんなジェスチャーであいさつをしますか？



**A**FTERNOON  
TEA



**B**UDDHISM



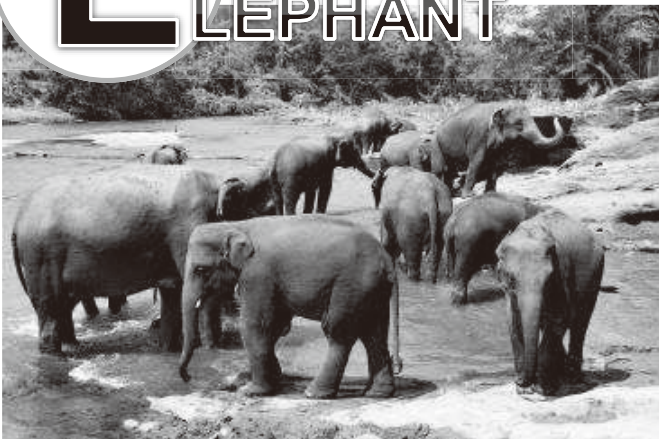
**C**OW



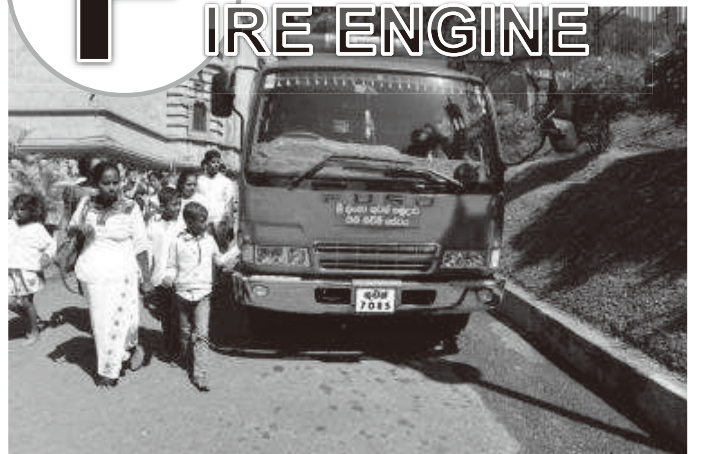
**D**OG



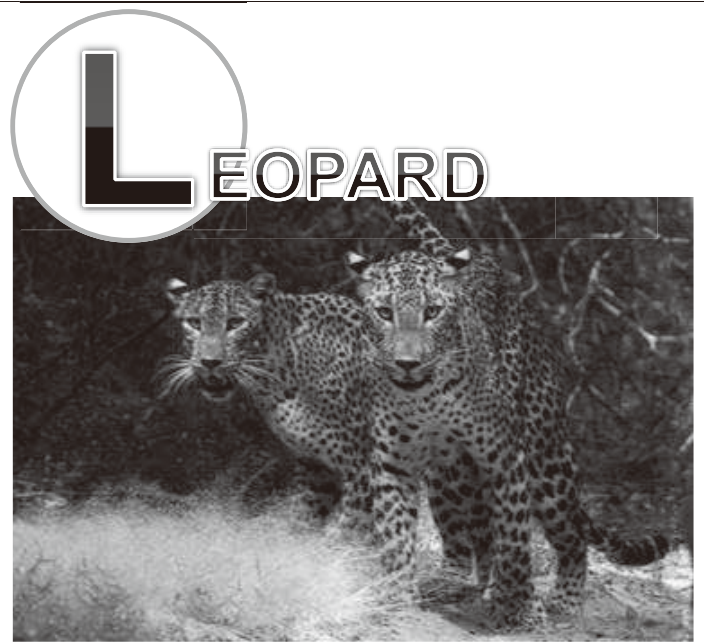
**E**LEPHANT



**F**IRE ENGINE



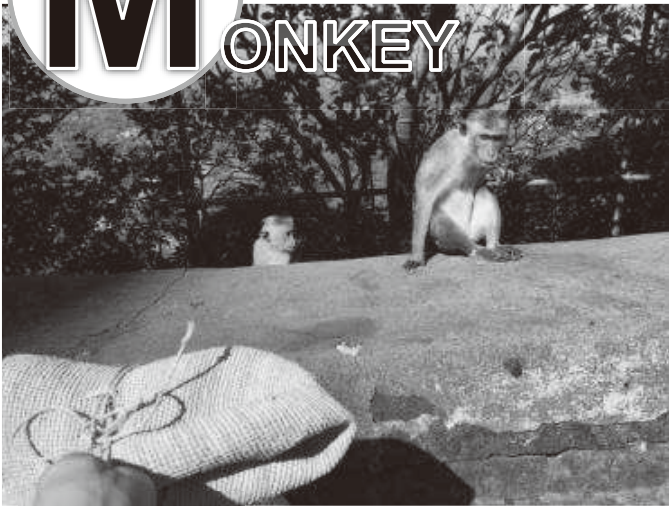






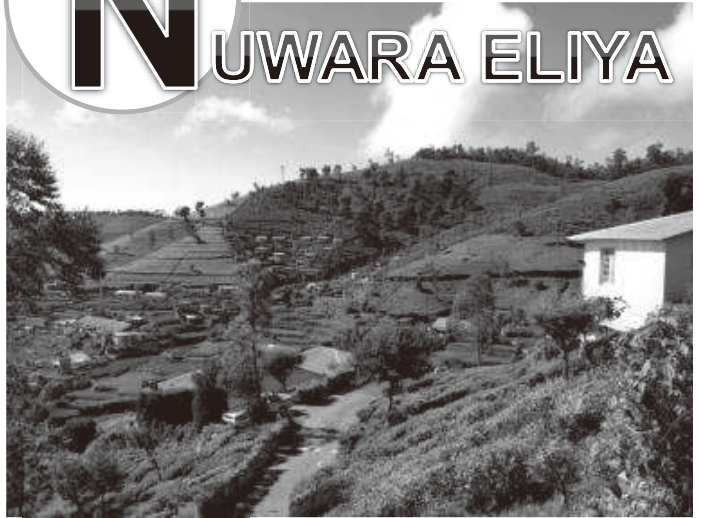
**M**

ONKEY



**N**

UWARA ELIYA



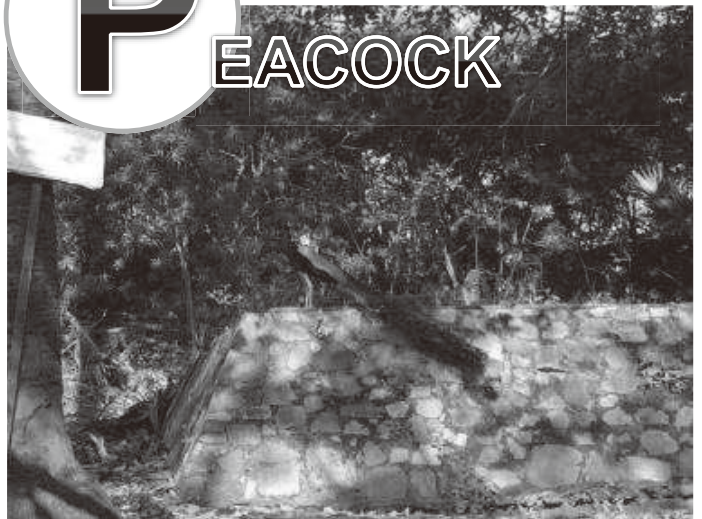
**O**

WL



**P**

EACOCK



**Q**

UAIL



**R**

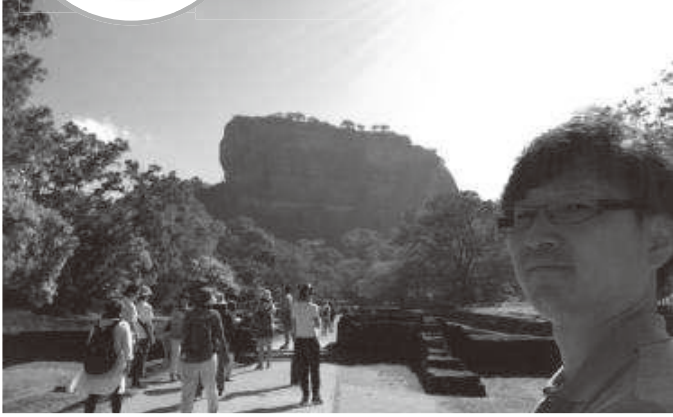
ICE





**S**

**IGIRIYA ROCK**



**T**

**HREE WHEEL**



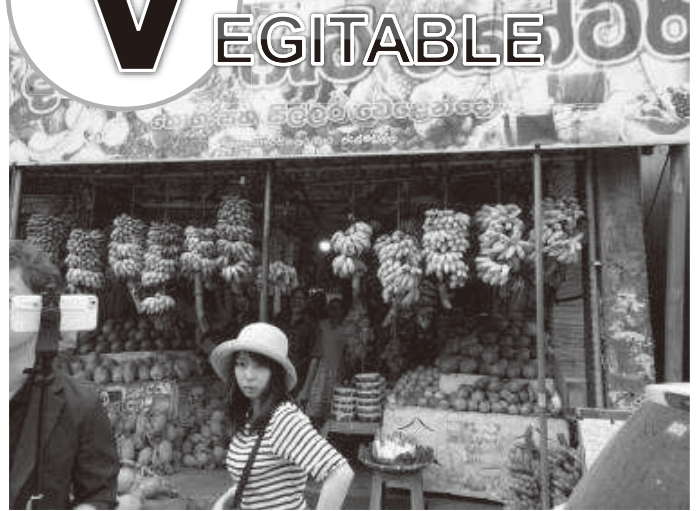
**U**

**NIFORM**



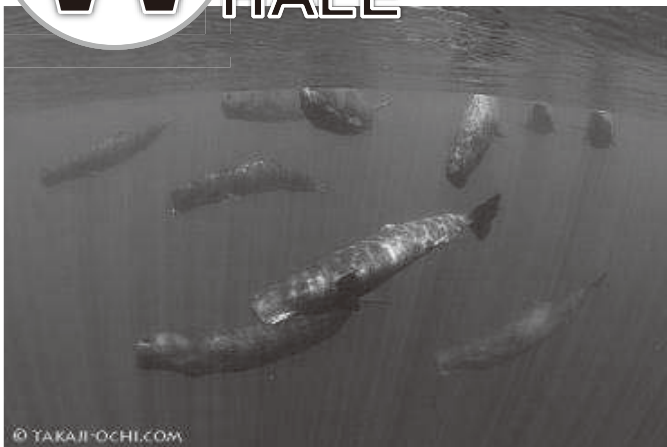
**V**

**EGITABLE**



**W**

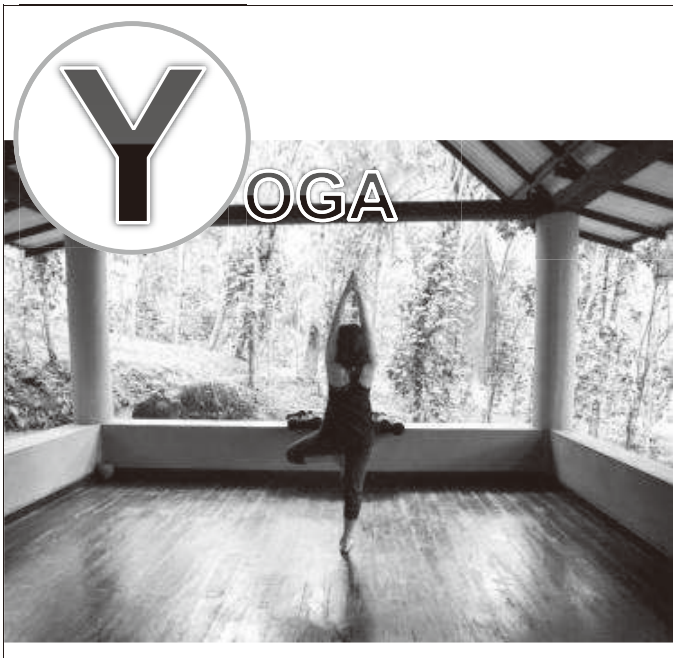
**HALE**



**X**

**YLOPHONE**





#### BUDDHISM (仏教)

スリランカは、約 70%が仏教徒。毎日たくさんの方がお寺で参拝しているよ。  
写真は、仏歯寺 (ぶっしじ)。ブッダ (お釈迦様) の歯が納められているよ。1982 年に世界文化遺産に登録されたよ。

#### AFTERNOON TEA (午後の紅茶)

スリランカは、紅茶葉の生産で有名。  
リプトンやキリン「午後の紅茶」は、スリランカ産茶葉を使っているよ。

#### DOG (犬)

スリランカには、野良犬がたくさん！本当にいろんなところに首輪のついていない犬がごろごろ。コンビニの前でお利口さんに座っている犬が、買い物客から食べ物を分けてもらおうとしっぽを振ってくるよ。くれぐれもかまれないように気を付けよう。

#### COW (牛)

スリランカには、家畜の牛がたくさんいるよ。家畜にはスプレーで名前が書かれているものが多いけど、野良牛もたくさん。道路の中央分離帯の牛は、本物の牛だよ。

#### FIRE ENGINE (消防車)

仏歯寺のわきで消防車を発見！よく見ると日本製！うれしくて写真をパチリ。町中は日本の中古自動車がたくさん走っているよ。たくさんというよりほとんどが日本車。もちろん新車もたくさん売られているよ。

#### ELEPHANT (象)

スリランカには、アジアゾウがたくさん住んでいるよ。  
昔は 4 万頭以上の象が生息していたけど、今では 500 頭にまで激減。今でも密漁などで年間 100 頭くらいが犠牲ぎせいになっていると言われているよ。



### HOT (暑い・熱い)

スリランカはとにかく暑い。1月でも毎日 30℃。雨が降っても気温が下がらない。いつでも T シャツで OK だね。

標高の高いところ (キャンディとか) は、夜は冷え込むので、ジャンパーが必要だよ。

### GEM (宝石)

世界でも有数の宝石産出国。質も高く、特にルビーやブルーサファイヤは欧米のセレブにも人気が高いよ。でも採掘現場で働いている人たちの労働環境はとても苦しいのが現状だよ。

### JAPANESE (日本人・日本語)

スリランカ人はとっても日本が大好き。日本語を学んでいる人もたくさんいるよ。

写真は、日本人とスリランカ人の夫婦が開いているレストラン。「こんなところに日本人」でも取り上げられたお店。欧米の観光客で大にぎわいでした。

### INDIAN OCEAN (インド洋)

スリランカは、島の形から「インド洋の涙」とか小さな島 (北海道の 80% くらい) に 7 つも世界遺産があることから「インド洋の宝石」などと呼ばれているよ。海はとっても透き通っていて美しかったよ。

### LEOPARD (ヒョウ)

スリランカには野生のスリランカヒョウもたくさん住んでいるよ。ヤーラ国立公園内には 30~40 頭くらいが生息しているけど、めったに出会うことはできないらしい。出会えた人はチョーラッキー!!

### KANDY (キャンディ)

島の中央部の山岳地帯にある町。シンハラ王朝最後の都として発展。1982 年に町全体が世界文化遺産に「聖都キャンディ」として登録されたよ。観光客からも人気が高く、おしゃれなお店がたくさんあったよ。

**NUWARA ELIA (ヌワラ・エリヤ)**

島の中央部の山岳地帯、標高 1800mにある高原エリア。セイロンティーの一大産地であり、紅茶工場やサロン（喫茶店）がたくさんあるよ。リプトンやキリン「午後の紅茶」の契約工場もここにあるよ。

**MONKEY (サル)**

山の方に行くときにかく野生のサルがたくさん。キャンディのホテルでは、朝方にサルがいたずらをしに来るので、ホテルの従業員が爆竹でおどろかせて追い返していたよ。シーギリヤ・ロックでは観光客にエサをねだるすがたもたくさん。

**PEACOCK (クジャク)**

スリランカには、野生のインド・クジャクが生息。北東部のトリンコモリーという町のお寺の近くでぐうぜん発見！飛ぶことは苦手だけど、夜間は木の上で眠るよ。

**OWL (フクロウ)**

スリランカで有名な野鳥の一つ。写真は、インドオオコノハズク。大きくなると23~25cmくらいになるよ。いやされる～。

**RICE (お米)**

スリランカでは、主食はお米。インディカ米や赤米などいろいろなお米が売られているよ。日本のお米のような粘り気が全くないので、カレーなどのスープにまぜて食べるのが一般的。ケンタッキーでも売っているなんて衝撃的！  
200 スリランカルピー=140円くらい

**QUAIL (ウズラ)**

スリランカにはムナグロウズラが生息。さて、ウズラは何の鳥の仲間かな？  
A. ニワトリ？  
B. キジ？  
C. スズメ？

**THREE WHEEL** (スリーウィール)

直訳すると「三輪車」。タクシー代わりに使うよ。タクシーなのか、一般人なのか見分けることが難しい。テキトーに乗るとぼったくられる。タクシーメーターがついているものを選ぼう。新車で50万円くらい。ちなみに子どもが乗る三輪車は、TRICYCLE。

**SIGIRIYA ROCK** (シーギリヤ・ロック)

標高370m、岩山の高さは195m。1982年に世界文化遺産に登録された。5世紀末、王位争いで腹違いの弟の襲撃を恐れ、この地に都を移した。わずか18年で王朝は<sup>かんらく</sup>陥落した。

**VEGITABLE** (野菜)

日本では見たことがない野菜もたくさん。町の八百屋さん(青果店?)の軒先には、バナナがつるされていたり、スイカやオレンジのようなものが山積みになっていたりしたよ。

**UNIFORM** (制服)

スリランカの子どもたちは小学生から大学生までみーんな制服を着ているよ。そのほとんどが白いシャツ。女の子は白の上下を着ているよ。

**XYLOPHONE** (木琴)

スリランカの黒檀(こくたん)は高級木材。

**WHALE** (クジラ)

マッコウクジラやシロナガスクジラを見に行くホエールウォッチングが大人気。ベストシーズンは、2~3月で、80%くらいの確立で出会うことができるんだって。

### ZOO（動物園）

スリランカにはいくつかの国立公園があり、野生動物たちが保護されているよ。その一つピンナワラの「ゾウの孤児院」では、事故などで家族や仲間とはぐれてしまったゾウを保護して育て、寺院やゾウ使いに引き取られ「働くゾウ」として活躍しているよ。

### YOGA（ヨガ）

スリランカの伝統医学「アーユルヴェーダ」の中には、ヨガで健康な身体と心を作っていくプログラムがあるよ。食事やマッサージなども含めて総合医療で健康な身体づくり。